

雲仙市観光マーケティングレポート2026年9月

UNZEN City Tourism Marketing Report

2026
September

今月の風景/大黒天磨崖仏

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service



INDEX

今月のサマリー

年間訪問者数推移

今月の日別訪問者推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

今月の特集：熊本地震からの夏、そして「行くべき冬」へ

雲仙観光局活動報告

【8月実績】164,595人、前年比99%でほぼ横ばい

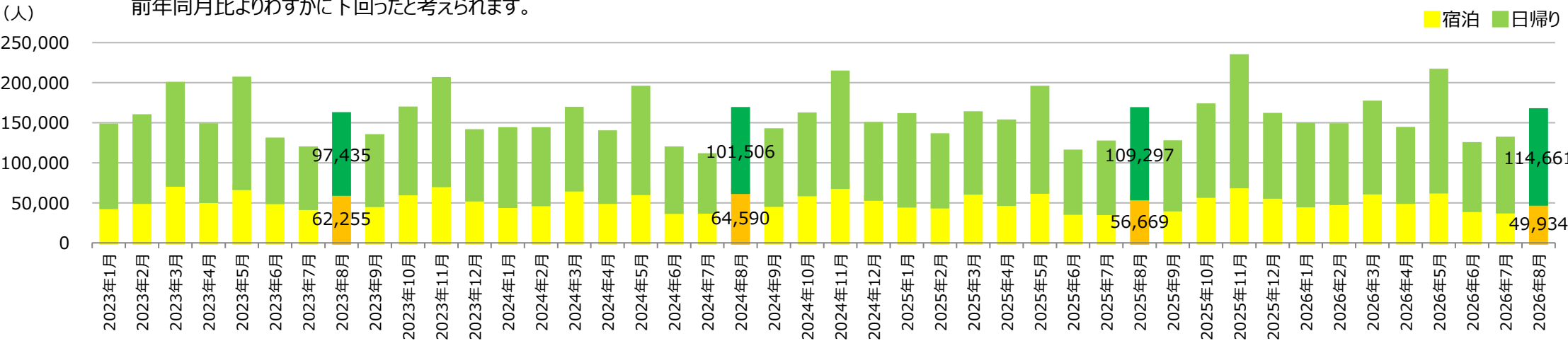
- 8月に雲仙市を訪れたお客様は164,595人で、前年同月（165,965人）とほぼ同水準（前年比99%）でした。一方、宿泊者数は49,934泊で前年比▲11.9%と過去5年で最も落ち込み、「人は来ているが、泊まりは伸び悩んでいる」状況が続いています。
- 訪問者属性では40代が24%に増加し、60代以上は23%へ減少。男性比率も68%まで上昇しており、夏休み・お盆による子育て世代の来訪が影響した可能性があります。
- ブロック別では、長崎県外・九州エリアからの割合が47%と上昇。物価高を背景とした九州内の近距離旅行需要が、県外九州からの来訪増につながったと考えられます。
- 九州内の他温泉地と比較すると、雲仙は前年比99%とほぼ前年並みを維持。由布院（116%）・別府（105%）は前年を上回った一方、長崎市・佐世保市・阿蘇市など多くのエリアで前年割れとなりました。

【今月の特集】熊本地震からの夏、そして「行くべき冬」へ

- 令和8年7月の熊本地震を受け、10月開始の「九州ふっこう応援割」を前に雲仙への実際の影響をデータで検証。来訪者数はほぼ横ばい（前年比99.2%）だった一方、宿泊者数は前年比▲11.9%と落ち込み、「人は来たが、泊まらなかった」実態が浮かび上がりました。
- SNS上の声からは、ふっこう割の予約争奪戦への高い関心と、雲仙エリアの宿泊施設側の対応負担・不安の両方が確認できました。
- 後半では、来訪者数が落ち込む12月・1月の閑散期に向け、「誰に届けるか」と「なぜ今、冬なのか」を整理し、観光局が先行して取り組む3つの施策（冬用PR動画・ナイトイベント先行告知・福岡市場PRイベント）を提示しています。

年間訪問客数推移（2023年からの推移）

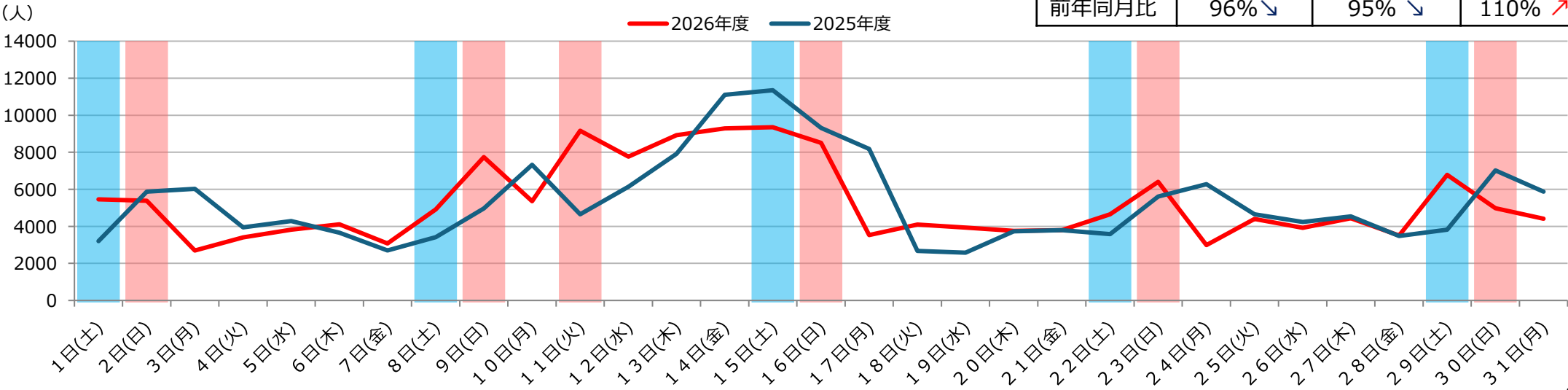
・訪問者数は**164,595**人（前年同月165,965人、**対比 99%**）で、前年を下回りました。
・8月は夏休み・お盆による旅行需要がある一方、物価高による節約志向や、混雑・旅行費用の高騰を避けて旅行時期を分散する動きなどから、前年同月比よりわずかに下回ったと考えられます。



8月の日別訪問客数推移

夏休み・お盆による帰省や家族旅行の需要により、前月比では全曜日で増加しました。前年同月比では平日・土曜が微減となる一方、お盆を含む休日に旅行需要が集中したことで、日・祝は前年を上回ったと考えられます。

8月	平日	土曜	日・祝
今月平均	4,562人/日	6,235人/日	7,032人/日
前月比	141% ↑	105% ↑	103% ↑
前年同月比	96% ↓	95% ↓	110% ↑



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

JNTO高付加価値旅行国内関係者ネットワーキングイベント参加

9月15日、JNTO（日本政府観光局）が主催する「高付加価値旅行 国内関係者ネットワーキングイベント」に、九州ボルケーノツーリズム協議会の一員として参加しました。当日はセミナーと商談会が行われ、雲仙地域からは観光団体、コンテンツ、宿泊施設など合計4ブースを設置。国内の旅行会社・DMC等と商談を行いました。

雲仙観光局ブースでは、雲仙の概要を紹介したうえで、各社が求める旅行ニーズを聞き取り、それに合わせて体験コンテンツを提案。火山の恵みである「食」や、食につながる「水」をテーマにしたE-BIKEの旅、火山の恵みを活かした蒸気蒸しなどを紹介し、複数社から関心が寄せられました。

「雲仙天幕レストラン」については、コンテンツそのものへの評価に加え、催行人数や子どもの受入れ、アレルギー・ハラル対応など、具体的な販売条件について多くの質問がありました。一式150万円～という価格についても、妥当であるという反応があり、強い関心を示す会社も見られました。

島原地域ブースでは、四明荘の貸切や本多木蟬を紹介。食事制限への対応については課題が確認されましたが、対応可能な施設への切り替えも含め、具体的な商品造成につながる意見交換が行われました。

今回の商談を通じて、雲仙・島原エリアの体験コンテンツに対する旅行会社側の具体的なニーズや、今後の商品化に向けた課題を把握する機会となりました。

九州ボルケーノツーリズム協議会の紹介(写真上)、商談の様子(写真下)→



九州大学バスケットボール秋季リーグ受入れ報告

全九州大学バスケットボール秋季リーグ戦が、雲仙市小浜体育館で9月9日～9月11日に開催されました。参加チームは男子6チーム、女子6チームの計12チームです。雲仙観光局では、選手をはじめ審判員等の関係者の宿泊施設手配を行い、約400名が宿泊（述べ宿泊）しました。

試合の様子(写真左)、局のロゴ入りフラッグスタンド(写真右)→



雲仙観光DXアカデミー成果報告会を開催します

10/29(木)に、ハマユリックスホールにて「雲仙観光DXアカデミー 成果発表会」を開催します。本アカデミーは、デジタルツールの導入から始めるのではなく、「Create UNZEN」という軸のもと、「自社は何のために、どこを変えるのか」を問い、自社分析や業務フローの整理、目的・数値目標の設定、実践と検証を重ねます。島原半島内の5つの事業者の皆さまが、8月から全9回のプログラムに取り組んできました。当日は、それぞれの学びや実践、これから進む道筋を自らの言葉で発表します。地域事業者の挑戦を知っていただける機会ですので、ぜひご参加ください。

【日時】10月29日（木）14:00～16:30

【会場】ハマユリックスホール（南串山町）

【参加費】無料・事前申込不要

雲仙観光DXアカデミーの様子（写真）→



海・夕陽・温泉を遊びつくす「GOOD TIDE OBAMA」

10/18(日)、小浜温泉街で「GOOD TIDE OBAMA」を開催します。目の前に橘湾が広がる小浜温泉を、「海を眺める温泉地」から「海で遊べる温泉地」へ。シーカヤックやSUP、初心者向けの釣りなど、これまでやってみなかったマリナクティビティを気軽に体験できる一日です。

海で遊んだ後は、釣った魚を食べたり、小浜の蒸気を活用した食を楽しんだり。夕方には、夕陽を眺め、コーヒーや音楽とともにゆったり過ごします。小浜温泉の新しい楽しみ方を提案するイベントです。

【日時】10月18日（日）12:00～19:00

【場所】小浜温泉エリア（観光案内所下・夕日の広場・蒸気家）

雲仙市を365日楽しむワーキングの様子

9/25(金)、雲仙市を365日楽しむワーキングの「企画立てプレビュー意見交換会」をオンラインで開催しました。今回は、4つの企画案について発表・意見交換を行い、参加者同士でアイデアを磨く時間となりました。

さらに10/23(金)には、愛野で企画立てワークショップを開催予定。9月の意見交換を踏まえ、企画を具体的な形にしていきます。「やってみたい」を実現につなげる場に、ぜひご参加ください。

詳しくはQRコードから雲仙ポータルをチェック！→



雲仙市観光マーケティングレポート 2026年9月号

一般社団法人 雲仙観光局 UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL：0957-73-3639 FAX：0957-73-3620

（公式URL）<https://unzen-dmo.com>（全員集合！雲仙ポータル）<https://www.unzen-portal.jp/>

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
※お問い合わせ先：雲仙観光局／ブランディング・マーケティング部（担当：黒原・白濱・衣川）
本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト
| 自分らしい雲仙を見つけよう |

